



平和ってなに？

～戦争を知って平和を考えよう・児童書版～



7月12日は「宇都宮市平和の日」

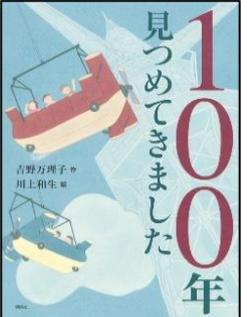
7月12日～8月15日は「宇都宮市平和月間」です

宇都宮市では、宇都宮空襲があった7月12日を「宇都宮市平和の日」、7月12日から終戦の日の8月15日までを「宇都宮市平和月間」と定め、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えています。

みなさんに読んでほしい、平和を考えるための図書のリストを作成しました。どうぞご利用ください。

	タイトル	赤いボタン			<p>著者は3歳のときに長崎で被爆(ひばく)し、被爆品や遺骨(いこつ)をたくさん収集してきた。被爆品から原爆(げんぱく)のことを学んでほしいという願いを伝える写真絵本</p>
	著者	岡本央／写真・文			
	出版社	大月書店			
	分類	E01／オ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上・河内			
	タイトル	子どものころの戦争の記憶 真珠湾攻撃から敗戦玉音放送まで			<p>1945年7月12日午後、宇都宮の上空に100機を超えるB29が来襲(らいしゅう)し、爆弾(ばくだん)や焼夷弾(しょういだん)を落とし始めた…。著者(ちよしゃ)が母とともに火の雨の中を必死で逃げ回った第2次世界大戦の思い出を記した絵本</p>
	著者	越川 栄子／文			
	出版社	随想舎			
	分類	E01／コ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			
	タイトル	きょうせんそうがはじまると			<p>もしも「きょうせんそうがはじまると…」どうなってしまうのだろう。「ともだちとあそべない」「でんきがとまる」それに…</p>
	著者	藤代勇人／作			
	出版社	ニコモ			
	分類	E01／フ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南			
	タイトル	せんそう			<p>あるとても美しい国に、赤と青の二つのお城がたっていた。ふたつはとても仲が良かったが、ほんの小さな出来事をきっかけに戦争がはじまってしまう。ながく続いた戦争を終わらせたのは、一人のこどもの行動だった。</p>
	著者	エリック・バトウー／さく 石津 ちひろ／やく			
	出版社	好学社			
	分類	E02／バ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	トットちゃんの15つぶのだいず			小学2年生とのきに戦争が始まったトットちゃん。 1日に食べるものが大豆15粒だけになっても、うれしいことを見つけるトットちゃんの姿に勇気づけられる。
	著者	黒柳 徹子／原案 柏葉 幸子／文 松本 春野／絵			
	出版社	講談社			
	分類	E03／ク	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	100年見つめてきました			奈良県生駒(いこま)市にある生駒山上(さんじょう)遊園地の乗り物を舞台にした物語。昭和4年から戦争を経て現代を見つめてきた飛行塔(ひこうとう)がやさしく語りかけてきます。
	著者	吉野 万理子／作 川上 和生／絵			
	出版社	講談社			
	分類	913／ヨシ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・河内			

	タイトル	生まれかわるヒロシマの折り鶴			全国から届くたくさんの折り鶴。これらは広島において、大きな課題となっていた。保管か展示か。廃棄(はいき)しかないのか。平和への祈りのこもった折り鶴はどのように姿を変えるのか。
	著者	佐藤 真澄／著			
	出版社	汐文社			
	分類	916／サ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	火のトンネル			長崎市立銭座(ぜんざ)小学校の6年生たちが毎年、原爆について学び描いてきた絵画「火のトンネル」。描きながら感じたことや絵にこめた思いを伝える写真絵本
	著者	岡本央／写真・文			
	出版社	大月書店			
	分類	916／オ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	水平線のかなたに 真珠湾とヒロシマ			水平線のかなたにるのは憎むべき敵なのか……。真珠湾(しんじゅわん)と広島、互いの立場で生きた人々の現実と想いを、41の詩のような物語にして伝えている。
	著者	ロイス・ローリー／著 ケナード・パーク／画 田中 奈津子／訳			
	出版社	講談社			
	分類	933／ロリ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

発行 令和6年7月 編集・発行 宇都宮市立図書館

問合せ 宇都宮市立中央図書館 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 電話 028-636-0231